

## 青森県社会教育委員の会議第4回全体会 会議概要

日 時	平成30年2月26日(月) 10:00~12:00
場 所	青森県庁南棟4階 A会議室
出席者	<p>《委員》敬称略 10名</p> <p>佐藤 貴子 三国 亜希子 吉川 康久 野呂 英樹          前田 智子 外井 亜希 七條 いつ子 吉田 圭子          茂木 典子 土井 良浩</p> <p>《事務局》</p> <p>佐々木昌生(企画振興GM・主任指導主事)          中村 健(地域推進GM・主任指導主事)他2名</p> <p>《その他》</p> <p>早野 英明(学校教育課 課長代理)          川村 真慶(県総合社会教育センター 育成研修課長)</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 副議長選出他</p> <p>4 案件</p> <p>(1) 調査研究のデザイン(方向性)について</p> <p>(2) 実地調査の結果について</p> <p>(3) 調査研究報告書骨子案について</p> <p style="padding-left: 20px;">①全体の構成について</p> <p style="padding-left: 20px;">②第2章について</p> <p style="padding-left: 20px;">③第3章について</p> <p>(4) その他</p> <p>5 調査研究スケジュールについて</p> <p>6 閉会</p>
配付資料	<p>《事前配布資料》</p> <p>資料1 青森県社会教育委員の会議運営規程</p> <p>資料2 青森県社会教育委員の会議専門部会設置要項</p> <p>資料3 調査研究のデザイン(方向性)について</p> <p>資料4-1 実地調査結果のまとめ 浅虫エリア</p> <p>資料4-2 実地調査結果のまとめ 大館エリア</p> <p>資料4-3 実地調査結果のまとめ 十和田エリア</p> <p>資料5 青森県社会教育委員の会議 調査研究報告書骨子(案)</p> <p>資料6 実地調査結果の分析について</p> <p>資料7 調査研究スケジュールについて</p> <p>参考1 実地調査の結果一覧(浅虫、大館、十和田エリア)</p> <p>参考2 専門部会報告</p>

## 次第 1 開会

(内容省略)

## 次第 2 教育長あいさつ

(内容省略)

## 次第 3 副議長選出他

事務局より、吉川委員が西中委員の後任として新たに委嘱されたことを説明。

《吉川委員自己紹介》

事務局より、互選により副議長を選出することを説明。

委員より自薦他薦がないため、事務局案を提示。全会一致で土井良浩委員が副議長となった。

## 次第 4 案件(1) 調査研究のデザイン(方向性)について

事務局より、調査研究のデザイン(方向性)について説明。

## 次第 4 案件(2) 実地調査の結果について

<浅虫エリア>

事務局より、実地調査の結果について説明。部会長より専門部会報告。

専門部会報告の内容

- ・報告書の第2章はエリアごとに記載すること
- ・報告書には具体的な数値を記載すること

議長 事務局の説明や専門部会報告について、質問や意見があればお願いしたい。

- 資料の訂正をお願いしたい。資料4-1の8ページの14行目に「平成30年」とあるが、正しくは「平成29年」である。

<大館エリア>

事務局より、実地調査の結果について説明。部会長より専門部会報告。

専門部会報告の内容

- ・以下を報告書に記載
  - ①公民館職員が大館地区において、コーディネーターの役割を担っていること
  - ②公民館職員が地域の子ども達をうまく巻き込んで活動できていること
  - ③コーディネーターの適正やその役割の変化について

議長 事務局の説明や専門部会報告について、質問や意見があればお願いしたい。

- 現在、代表を務める団体をNPO法人化する準備を進めているが、運営費をどのように捻出するか頭を悩ませている。調査先のハピたのでは、最初は行政からの委託事業を活用し、収入が

見込めるようになったと伺った。地域に対する思いがある団体に業務委託や指定管理などを任せることで、今まで以上に地域が活性化していくと思う。

#### <十和田エリア>

事務局より、実地調査の結果について説明。部会長より専門部会報告。

##### 専門部会報告の内容

- ・中沢氏のようなエリアの中で多様な団体と結びつけられるコーディネーターが必要であること
- ・報告書に具体的な数値を掲載する場合は当事者から許可を得ること
- ・以下を報告書に記載
  - ①子どもの存在がコミュニティ形成に重大な役割を發揮していること
  - ②ハピたのカフェに関する数値や金額（経営の実態、関わる子どもの人数、予算など）

議長 事務局の説明や専門部会報告について、質問や意見があればお願いしたい。

- 野辺地町の児童が図書館内に設置されている学童保育に行く際は、学校から直接行くことが禁じられている。十和田市の学童保育は学校から直接学童保育に行ってもいいのかが知りたい。野辺地町には、部活動に参加していない子供たちの放課後の居場所がなくて心配している。
- 熱意のある団体が業務委託及び指定管理を受託することで人と人、団体同士がつながるきっかけになると思う。調査結果の報告も大事だが、業務委託されるまでの経緯や、どのようなアプローチをしていけば市町村から業務を受託できるのかなどを報告書に掲載することができれば、団体の運営費を捻出するためにどのような活動していけばいいかを知ることができると思う。

### 次 第 4 案 件 ( 3 ) 実 地 調 査 研 究 報 告 書 骨 子 案 に つ い て

#### ① 全 体 の 構 成 に つ い て

事務局より、全体の構成について説明。部会長より専門部会報告。

##### 専門部会報告の内容

- ・資料6を箇条書きではなく、文章化すること
- ・第2章の1でエリアごとにまとめ、第2章の2で分析として掲載すること
- ・3つのエリアで共通する特徴や課題を必ずしも記載しなくてよいこと

議長 事務局の説明や専門部会報告について、質問や意見があればお願いしたい。

- 資料6(1)のエリアの概要では、3つのエリア共通の形で65歳以上や0歳から14歳の人口の割合をパーセント表示で記載した方が分かりやすい。(3)のエリアの連携・協働のイメージ図は大変見やすく、わかりやすい図だが、この中で太い線があったり、細い線があったり、矢印があるのでそれらの意味をはっきりさせる必要がある。その中で我々が調査した団体がはっきりわかるように掲載した方がいい。

## 次第4案件(3)実地調査研究報告書骨子案について

### ②第2章について

事務局より、第2章について説明。

議長 事務局の説明について、質問や意見があればお願いしたい。

- 提言は第3章でまとめるべきである。第2章はあくまでも調査した結果から分かったことを記載するべきである。第2章の2の構成を検討する必要がある。特徴と課題で共通している点が①で②が行政との関わりになっている。行政との関わりは、民間と行政の関わりで、今回のテーマでもある。①では行政の記載もある。内容が重複しないような見出しにするべきである。
- 研究テーマの中の地域コミュニティ形成のための行政と民間の「行政」という言葉の意味を委員全員が共通認識できていないのではないか。
- 十和田市は子どもの割合がすごく多いエリアだと思っていたが実はそうではない。そのことが分かるように記載するべきである。
- 人口の割合などは十和田市全体の値が記載されており、商店街周辺のみの値ではない。十和田市全体の値のみでは、コミュニティと考えた時にエリアが広すぎると思う。

事務局 あそび場商店街は商店街周辺の子供達だけではなく、十和田市全体から募集していることもあり、十和田市の人口を記載した。

- 統計的な共通のデータを記載した方がいいという意見があったため、エリアごとの統計も記載するかどうか検討していくべきである。エリアの地図を掲載した方がいい。

## 次第4案件(3)実地調査研究報告書骨子案について

### ③第3章について

事務局より、第3章について説明。

議長 事務局の説明について、質問や意見があればお願いしたい。

特に意見はなく、承認された。

## 次第4 その他

- なし

## 次第5 調査研究スケジュールについて

事務局より、今後の日程について説明。

- 質問や意見は特になかった。

## 次第6 閉会

(内容省略)

(以上)